

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》百々 尚美

【概 要】

脳と心の謎について考えるために、中枢神経系、自律神経系、内分泌系、免疫系、骨格筋系、視覚-運動系についての生理心理学的知識を身につける科目である。

【学習目標】

生理心理学に関する基礎知識を習得し、精神機能をにう生体反応のメカニズムについて理解する。

脳と心との関係について、基本的な知識を説明できる。

精神機能をにう生体反応のメカニズムについて説明できる。

さまざまな科学技術の進歩が心の理解にどのようにかわるかを説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	生理心理学・精神生理学の定義とは	生理心理学・精神生理学の定義、基本的概念、心理学における生理心理学・精神生理学の位置づけについて概説できる。	百々 尚美
2 }	脳神経系とは	脳神経の構造について概説できる。	百々 尚美
3		脳神経系の機能および生理心理学で用いられる生理指標について概説できる。	
4 }	自律神経系とは	自律神経系の基本構造と働きについて概説できる。	百々 尚美
5			
6 }	注意とは	受動的注意について概説できる。	百々 尚美
8		能動的注意について概説できる。	
9	二つの脳とは	分離脳研究について概説できる。	百々 尚美
10	生物リズムとは	生物リズムのメカニズムについて概説できる。	百々 尚美
11	睡眠の基礎とは	睡眠のメカニズムについて概説できる。	百々 尚美
12	睡眠の脳科学とは	睡眠の脳科学研究について概説できる。	百々 尚美
13	ストレスの生理と心身の疾病とは	セリエの学説、汎適応症候群について概説できる。	百々 尚美
14	精神神経内分泌免疫系とは	精神神経内分泌免疫系について概説できる。	百々 尚美
15	バイオフィードバックとは	バイオフィードバック研究について概説できる。	百々 尚美

【評価方法】

授業後に行う小テストの結果（20%）、およびレポートの結果（80%）を総合して評価します。

【備 考】

教科書：適宜プリントを配布する。

参考書：『心理生理学 心と脳の心理科学ハンドブック』北大路書房 2012年

『生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎』北大路書房 2017年

『生理心理学と精神生理学 第II巻 応用』北大路書房 2017年

その他：講義開始時に小テストを行う予定である。出席の確認は回収された小テストによってなされる。

欠席回数については各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。

【学習の準備】

シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（30分）

講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（60分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な科学的知識や技術を備え、脳と心との関係について理解し、社会の様々な分野において、心の問題を評価し援助する基礎的技能を修得する能力を身につける。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。